



# 緑の募金のお願い



謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より緑の募金事業につきましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

熊本県の土地利用面積の約6割を占める森林は、木材資源の供給のみならず、水源の涵養、土砂災害の防止、生物多様性の保存、そして人々の癒しや健康増進に大きく貢献しています。特に近年は、樹木の持つ二酸化炭素の吸収や固定の働きが注目され、森林は持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けたカーボンニュートラル（地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す）の実現に不可欠な役割を果たしています。

その一方で、地域の過疎化や高齢化、林業の担い手の減少などに伴い、山の荒廃が進み、森林の持つ多面的な機能が失われていくことも危惧されており、一人ひとりが森林の大切さを理解し、出来るところから森林の整備に関わっていくことが重要となっています。

また、森林の整備とあわせて、私たちが暮らす地域や学校において植樹等により緑化を推し進めることは、生活に豊かさと潤いをもたらすだけでなく、温暖化の防止や環境教育などの面できわめて有益です。

（公社）熊本県緑化推進委員会は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、熊本県知事の指定を受けて緑の募金業務を行う県内唯一の団体であり、県内11の「地域みどり推進協議会」及び市町村と連携し、上述の趣旨を踏まえ、森林整備と緑化推進のため、緑の募金事業として様々な取組みを実施しております。

つきましては、何卒、緑の募金事業に対しまして一層のご理解をいただきますとともに、厳しい経済状況の中、誠に恐縮ですが、緑の募金へのご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

## （緑の募金事業の主な取組み）

- 植樹祭・育樹祭の開催による森林整備や環境緑化の推進
- 学校や地域住民で組織する団体が行う地域の緑化活動への支援
- 緑の少年団をはじめ次代を担う青少年の育成
- 森林ボランティア団体が行う森林整備（県民参加の森づくり）等への支援
- 緑化キャンペーンによる普及啓発

## （令和8年国土緑化運動標語）

「植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土」

令和8年3月1日

公益社団法人熊本県緑化推進委員会

理事長 中島 豪



各 位